

2016熊本地震におけるDVT対策の動き

4/16 本震
 4/19 記者会見 (済生会)
 4/21 4/22 4/25 4/27 4/29 5/3-5 5/9 5/14 5/31 6/14 6/18

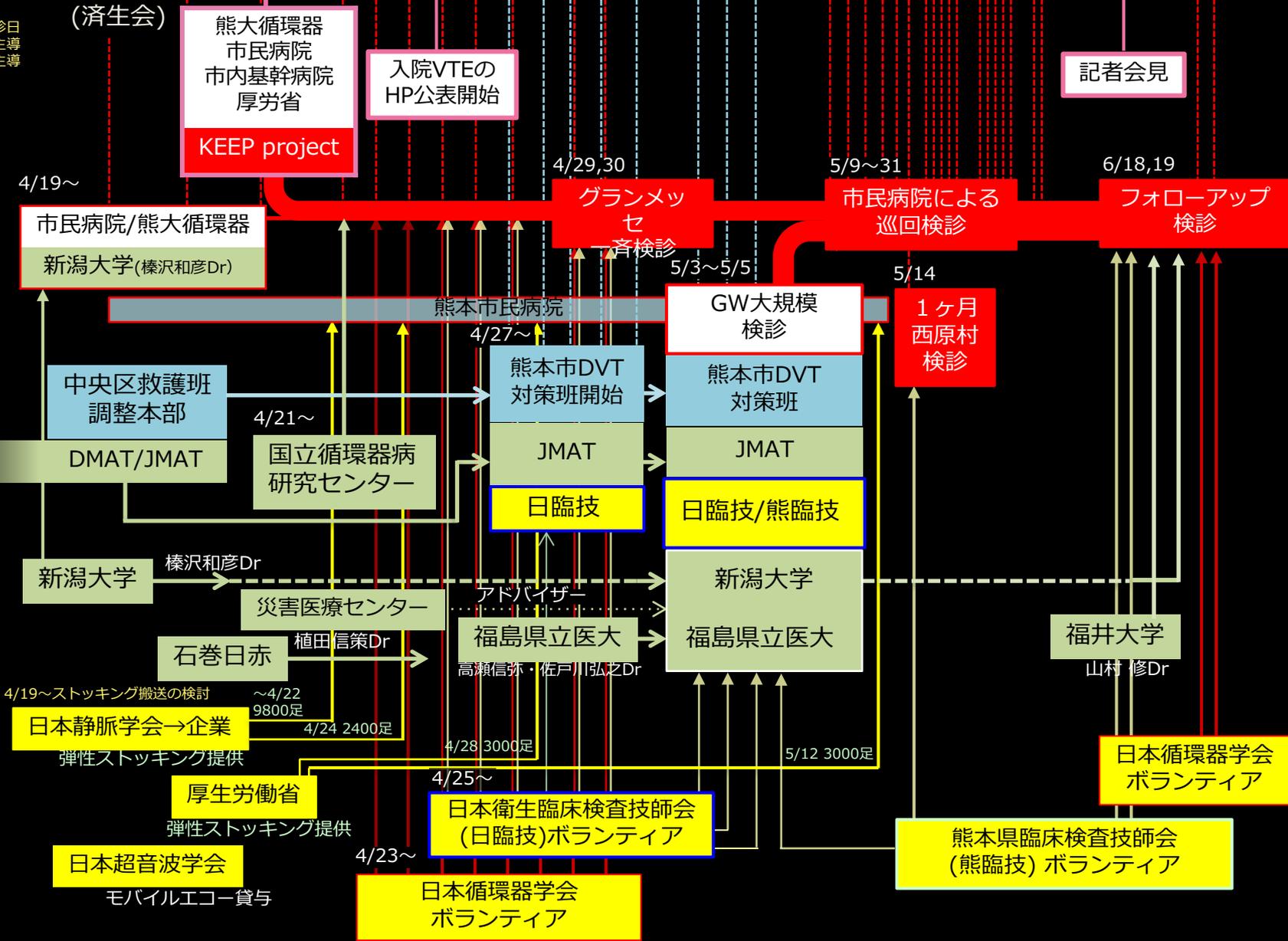
巡回検診日
 赤：県主導
 青：市主導

県

市

県外

組織



熊本地震に参集した主な医療救護組織・団体

略称	名称
DMAT DMAT ロジチーム	災害派遣医療チーム Disaster Medical Assistance Team DMAT ロジスティックチーム
日赤	日本赤十字社 Japanese Red Cross Society
JMAT	日本医師会災害医療チーム Japan Medical Association Team
JRAT	大規模災害リハビリテーション支援関連団体協議会 Japan Rehabilitation Assistance Team
日本集団災害医学会	日本集団災害医学会災害医療コーディネートサポートチーム Japanese Association for Disaster Medicine
AMAT	全日本病院協会災害時医療支援活動班 All Japan Hospital Association Medical Assistance Team
AMDA	特定非営利活動法人アムダ Association of Medical Doctors of Asia
MSF	国境なき医師団 Medicines Sans Frontiers (Médecins Sans Frontières)
HuMA	特定非営利活動法人災害人道医療支援会 Humanitarian Medical Assistance
NHO 初動医療班	独立行政法人国立病院機構 National Hospital Organization
JCHO 医療救護班	独立行政法人地域医療機能推進機構 Japan Community Health care Organization
全国知事会救護班	全国知事会救護班、保健師 National Governors' Association
DCAT	災害派遣福祉チーム Disaster Care Assistance Team
DPAT	災害派遣精神医療チーム Disaster Psychiatric Assistance Team
PCAT	日本プライマリ・ケア連合学会災害支援医療チーム “Primary Care for All” Team
TMAT	徳洲会医療救護隊 Tokushukai Medical Assistance Team
JDA-DAT	日本栄養士会災害支援チーム The Japan Dietetic Association-Disaster Assistance Team
支援薬剤師	日本薬剤師会 Japan Pharmaceutical Association
災害支援ナース	日本看護協会 Japan Nursing Association
災害支援臨床検査技師	日本臨床衛生検査技師会 Japanese Association of Medical Technologists : JAMT
災害支援循環器内科医	日本循環器学会 Japanese Circulation Society : JCS
DHEAT*	災害時健康危機管理支援チーム Disaster Health Emergency Assistance Team (DHEAT)
DVAT	災害時静脈血栓塞栓症支援チーム Disaster VTE Assistance Team

*熊本地震では実働なし



熊本日日新聞 平成28年11月14日

避難者 1割に血栓

エコノミー症候群原因

医師グループ 2000人検査

目立つ高齢者「予防を」

熊本県は元来、高齢者が多く、高齢者の割合が全国平均を上回っている。また、高齢者の中には、血栓症のリスクが高くなる。熊本県医師会が、県内各地に点在する避難所を巡回し、避難者約2000人を対象に血栓症の検査を行った。その結果、約1割の避難者に血栓症のリスクが認められた。特に高齢者の割合が顕著で、医師らは「高齢者の予防が重要」と指摘している。

熊本県医師会によると、血栓症は命を脅かす危険な病気。高齢者は血管が硬化し、血液が固まりやすくなる。また、長時間の移動やストレスも血栓症の原因となる。医師らは、避難所での生活環境の改善や、高齢者の健康管理を呼びかけている。

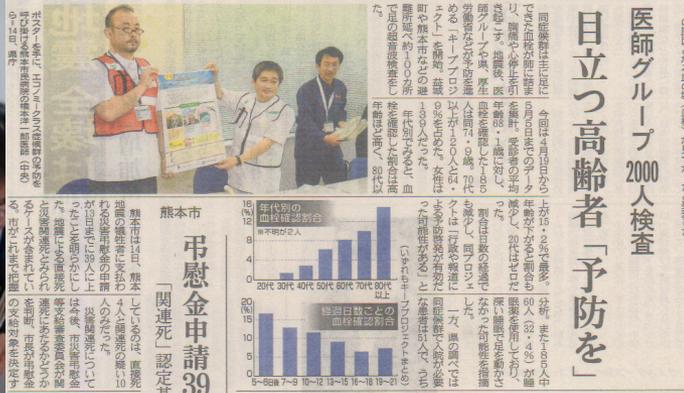
検査結果によると、約1割の避難者に血栓症のリスクが認められた。特に高齢者の割合が顕著で、医師らは「高齢者の予防が重要」と指摘している。

熊本県医師会が、県内各地に点在する避難所を巡回し、避難者約2000人を対象に血栓症の検査を行った。その結果、約1割の避難者に血栓症のリスクが認められた。特に高齢者の割合が顕著で、医師らは「高齢者の予防が重要」と指摘している。

熊本日日新聞 平成28年11月14日

避難者 1割に血栓

エコノミー症候群原因



熊本地震復旧に590億円

土砂崩れ 予備費第2弾 閣議決定

熊本地震 県内の被災状況 (14日午後時点、熊日本と約)	死亡
48人(熊本74、阿蘇郡村15、西原村5、湯浅町1、霧島町5、益城町20、八代市1)	20人(熊本10、宇土市2、阿蘇市2、菊池町1、益城町1、宇土市1、阿蘇市1)

熊本市 弔慰金申請39人に
「関連死」認定基準も示す

熊本市は14日、熊本市での地震発生から約1週間が経過した。市内の被災状況は、死者48人、負傷者15人、行方不明者15人、避難者約1万5千人に達している。市は、被災者の生活再建支援のため、弔慰金申請者39人に、関連死の認定基準を示している。